

✿ 毎月23日は「福岡市 子どもと本の日」です ✿

～ 子どもの読書活動を推進しましょう ～

□ 福岡市中学校図書館教育研究会 の総会が行われました (報告)

福岡市学校図書館教育研究会の総会が、福岡市教育センターで行われました。当日はあいにくの空模様となりましたが、会場は満席の出席者で熱気に溢れていました。

総会の内容は、昨年度の活動の総括と今年度の活動計画の確認ならびに役員の紹介と常任委員の選出でした。今年度の活動計画については、昨年度に引き続き「自ら学ぶ力を育て、豊かな心を培う学校図書館」という研究テーマのもと、研究会主催による年2回の自主研修会、58回目を迎える中学生図書委員交流会の実施、さらに、生涯学習課主催の福岡市子ども読書フォーラムへの参加等について確認されました。



瀧口会長（手前）と
司会の井田副会長

研究会長である福岡市立多々良中央中学校の瀧口博之校長から、「生きる力を構成する要素の一つに、自らを律する基本的な生活習慣がある。それを身に着けるためには自己指導力の育成が必要だが、育成の基盤となるものに読書指導がある。」と話され、独立行政法人国立青少年教育振興機構による「子どもの読書活動と人材育成に関する調査研究」の結果を引用され、「その調査によると、子どもの頃に読書活動が多い人ほど、未来志向、社会性、自己肯定、文化的作法・教養、市民性のすべてにおいて、現在の意識・能力が高いという結果がでてくる。このことから、中学校段階として、いかに生徒たちを学校図書館に向かわせ、本と親しませるか、そのための手立てを、皆さんと一緒に考えたい。」と述べられました。



熱心に話を聞き入る出席の先生方

また、学校指導課の平川主任指導主事から、「本市の『子どもと本をつなぐ学校図書館推進事業』において、小学校段階で適切な読書習慣を身に着けさせ、中学校につなぐという考え方にに基づき3年目を迎えました。この間、福岡市学校図書館支援センターも開設され、相談業務、学習支援、情報提供の3分野からサポートが行われています。多くの学校で、朝読書を始めとした様々な取組がなされ、今後とも一層の読書活動充実に向けて、取組を推進していただければ幸いです。」と挨拶がありました。

□ 「本と出会うミュージアム 2016」が実施されました

福岡市美術館・福岡アジア美術館・福岡市博物館では、4月23日の「子ども読書の日」にちなみ、本に親しむ子どもの育成に寄与するとともに、「子ども」と「アート・歴史」を結ぶミュージアムならではの書籍の紹介やイベントが行われました。会期は5月22日まで（福岡市博物館のみ5月29日まで）でしたので、23日にはすでに終了した館もありますが、各館の展示内容などを紹介します。

♪ 福岡市美術館

1) 「美術を楽しむ本」(1階 読書室)

美術や美術館を主題とした本の中から、子どもたちにも、楽しみながら美術に触れられるような本が集められています。

2) 「作家とアートな絵本」

(2階 キッズコーナー もりのたね)

2階のキッズコーナーには福岡市美術館が所蔵している作家や作品に関連した絵本が集められています。壁を飾る森の風景は久留米市在住の美術家：オーギカナエさんの制作による「もりのたね」の入り口（左）と「作家とアートな本」の展示（右）ものです。ちなみに白い人型のようなオブジェは、「もりのたね」のキャラクター「たねお」です。



福岡市美術館 1階の落ち着いた読書室



読書室入口の企画展示本コーナー

♪ 福岡アジア美術館

1) 「アジアのみんなの絵本」(8階「図書閲覧室」)

福岡アジア美術館8階の図書閲覧室には、アジア約20ヶ国・地域の絵本やおもちゃ、民芸品が（これも見もの！）右の写真のように展示されています。写真左上の掲示板には、机の上に置かれた絵本の中から3冊について、わかりやすく解説



福岡アジア美術館の図書閲覧室



してありました。（写真左がその3冊）また、同じ絵本（例：「ぐりとぐら」のシリーズ）について、複数の国で出版された本（当然、その国の言葉で訳されています。）も集めてありました。

2)「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」(7階 キッズコーナー)

7階にはキッズコーナーがあります。そこにも絵本が置いてあります。ここでは毎月第2・第4火曜日と第2・第4日曜の11:30～と13:00～の1日2回、ボランティアによる「読み聞かせ」が行われています。「本と出会えるミュージアム」の期間中は、上記の日程に加え、5月の14日、15日、21日の土日にも実施されました。



絨毯敷きのカラフルなキッズコーナー

♪ 福岡市博物館

博物館にも2階にりっぱな読書室があります。貴重な文献・書籍の他、小・中学生向けの図書も置いてあります。

○「サザエさんが生まれた街・福岡」 (2階読書室)



読書室内の企画展示本コーナー



博物館2階の読書室

福岡市早良区に「サザエさん通り」があるように、長谷川町子作の漫画「サザエさん」は福岡市と縁が深い作品です。今年はそんな「サザエさん」が誕生してちょうど70年目になります。そこで、福岡市博物館では、漫画「サザエさん」と、「サザエさん」の連載が始まった頃の福岡市の様子と人々のくらしを紹介する標記の企画がなされました。

展示本のコーナーには、姉妹社から発行された「サザエさん」の単行本はもちろん、「サザエさん」の関連書籍や昭和20年代・30年代の福岡市を扱った本が並べてあります。博物館のみ、5月29日(日)までの開催です。ぜひ、お出かけください。

♪ 福岡市総合図書館「6月の案内」

をあわせて紹介します。*****

* **毎月のお話し会**：(6月) 4日(土), 5日(日), 11日(土), 12日(日)
18日(土), 19日(日), 25日(土), 26日(日)

* **時間**： 土曜：14:30～(幼児向け) 日曜：14:30～(幼児向け) 15:15～(幼児～小学生向け)

* **場所**：「こども図書館 おはなしの家」です。

❖ **6月の展示について**：福岡市総合図書館は今年で開館20周年を迎えます。そこで、20周年記念事業として、開館年(1996年)に出版された児童書を集めて展示される予定です。

□ 図書館 歳時記 (5月下旬～6月)

* 特集や企画等の展示
のヒントにどうぞ!

✿ 記念日関係

* 5月25日: 「広辞苑 初版が発刊された日」

我が国の代表的な国語辞典のひとつである「広辞苑」は20年の編集作業の末、1955年のこの日刊行されました。現在までで6版を重ねています。

* 5月27日: 「百人一首の日」

藤原定家の「明月記」の中に、文暦2年(1235年)のこの日、定家が和歌百首を書写し、山荘の障子に貼ったという記述があります。これが百人一首の初出であるという説に基づいたものです。

* 6月11日: 「学校図書館の日」

平成9年のこの日、「学校図書館法の一部を改正する法律」が公布されたことを記念して、全国学校図書館協議会により制定されました。

* 6月12日: 「アンネの日記の日」

1942年、13歳の誕生日に父から日記を贈られたアンネ・フランクは、この日から日記を書き始めたのです。

* 6月19日: 「朗読の日」

朗読を通して文化活動と社会に貢献することを目的とする「日本朗読文化協会」により制定されました。ろう(6)ど(10)く(9)の語呂合わせによります。声を出して読むことは、脳を活性化させ、良い影響を与えていると言われています。また、ことばが持つ美しい響きに、あらためて気がつくものです。ぜひ声に出して読むことを実行したいですね。



✿ 6月に関する文学関係者たち

♪ 6月生まれの主な文学関係者

6月9日	有川 浩 (1972)	6月14日	川端 康成 (1899)
6月10日	モーリス・センダック (1928)	6月16日	ねじめ正一 (1948)
(米絵本作家「かいじゅうたちの		6月19日	太宰 治 (1909)
いるところ) 」		6月21日	村岡 花子 (1893)

♪ 6月に亡くなった主な文学関係者

6月5日	オー・ヘンリー (1910)	6月19日	太宰 治 (1948)
6月8日	赤羽 末吉 (1990)	6月19日	ジェームス・バリー (1937)
6月10日	倉橋由美子 (2005)		(「ピーター・パン」)

□ 役に立つサイト見つけ！ 「元気な学校図書館プロジェクト」

今月は、「Hello! 学校図書館」のページをお休みしていますが、それをおぎなってもらい、たいへん参考になるサイトを紹介します。

ある時、「元気な学校図書館」と入力して検索してみたところ、たまたま、このサイトに会いました。私が見た時には、岩手県内の小学校8校、中学校5校の学校図書館内の写真が、その学校の基本情報、読書活動の状況などとともに紹介されていました。

実はこれ、あるIT関連の会社が設立した図書館サポートサイトなのです。サービスをフルに利用するには会員登録が必要とされています。（ただし登録料や会員費などは一切ありません。）しかし、標記の学校図書館紹介のサイト（「元気な学校図書館プロジェクト」）については会員登録の有無に関係なく、だれでも無料で閲覧が可能になっています。

学校図書館の環境整備や学校図書館を活用した読書活動に関して、様々なヒントを得ることができそうです。サイトの設置者に確認したところ、これからも随時、いろいろな学校の学校図書館を紹介していくそうです。

閲覧方法

元気な学校図書館 と入力し、検索してください。

□ 図書館員のひみつの本棚 《No.121》

福岡市総合図書館 読書相談員の重村さやかさんが、毎月素敵な本を紹介してくださる楽しみなコーナー。

今回の本は先生方にもおすすめです。自分の夢を追い続け、こつこつ取り組み、ついには実現させる！これって、正にアントレプレナーシップの精神ですね。というわけで、立志応援文庫にもお薦めできそうです。

✿ 今月の本



『シュヴァル ー夢の宮殿をたてた郵便配達夫ー』

（たくさんのふしぎ傑作集）

岡谷 公二／文 山根 秀信／絵 福音館書店 2016年 1404円

添付ファイルをご覧ください。

♪ あとがきにかえて * * * * *



五月晴れの美しい青空の下，学校では運動会・体育会の練習で子どもたちの元気な声が響き渡っていることでしょう。（先生方の大きな声も？）その運動会・体育会が終わる頃は，梅雨の季節を迎えています。これまでと打って変わり，運動場で遊べないために，学校図書館を訪れる子どもたちの数も増えるかもしれません。

そこで，「これはチャンス到来！」ととらえ，読書の楽しさ・おもしろさを，ぜひ子どもたちに実感させたいものです。

そのためには，子どもたちを学校図書館へと誘う「誘い水」と，本に親しむことの楽しさ・おもしろさに気付かせる「手立て」について，今から考え，準備をしておくことができるといいですね。

この通信ではできるだけ色々な学校の読書活動例を紹介したいと思っています。そのためには各学校・園からの情報提供を何より必要としています。ぜひ，下記まで，どしどし情報をお寄せいただきますよう，よろしくお願いいたします。

発 行： 福岡市教育委員会 生涯学習課

電 話： 7 1 1－4 6 5 5 F A X： 7 3 3－5 5 3 8